

2018情報通信月間参加行事 報告書

行事ID	Cc043L	行事名	安心・安全ICT講演会 -ICTを活用した新たなセンシング技術-	
行事形式	講演会	主催団体	次世代安心・安全ICTフォーラム 国立研究開発法人情報通信研究機構	
開催日	7月6日(金)		開催場所	東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館 402室
行事参加者数	40		WebサイトURL	http://ictfss.nict.go.jp/ictfss-2018/index.html

行事実施概要・アピール等

行事のプログラム

開会挨拶: 次世代安心・安全ICTフォーラム会長 松島裕一

来賓挨拶: 総務省 情報通信国際戦略局 技術政策課 研究推進室 室長 田沼知行

講演1: 「革新的社会システムの創成をめざした光・無線融合技術」 (国研)情報通信研究機構 ネットワークシステム研究所 ネットワーク基盤研究室 室長 山本 直克

講演2: 「振動可視化レーダVirAの開発と応用」アルウェットテクノロジー株式会社 代表取締役 能美 仁

講演3: 「地デジ放送波を用いた水蒸気量観測-局地的大雨の予測精度向上を目指して-」(国研)情報通信研究機構 電磁波研究所 リモートセンシング研究室 主任研究員 川村 誠治

閉会挨拶: (国研)情報通信研究機構 理事 細川瑞彦

行事の実施概要

平成29年7月4日(火)13:00から東京都千代田区平河町の都道府県会館にて「安心・安全ICT講演会-ICTを活用した新たなセンシング技術-」を次世代安心・安全ICTフォーラム(会長:松島裕一早稲田大学教授)(会員数140)と国立研究開発法人情報通信研究機構が開催した。本講演会は松島会長による主催者挨拶及び総務省情報通信国際戦略局研究推進室の田沼知行室長の来賓挨拶の後、安心・安全を実現する新たなセンシング技術をテーマに、光ファイバを使った空港滑走路監視レーダ、インフラの老朽化を検知する振動可視化レーダ、局地的大雨のタマゴとなる水蒸気量を地上デジタル放送波を用いて観測するシステムなど各種のセンシング技術に関する講演が行われ、主催者を含め40名の参加者があった。

参加者へのアンケート結果では、「資料集がカラーで製本されており読みやすい。」などの意見とともに光無線技術を用いての建物内やトンネル、山影等の不感エリア解消に期待する意見もあった。

本フォーラムのWebページ: <http://ictfss.nict.go.jp>



山本室長の講演



能美取締役の講演



川村主任研究員の講演



講演会会場の様子